



 そうふうPartⅡ 爽風 発行者：校長 下地美和子	学校教育目標 創造性にあふれた 心豊かでたくましく 生きる児童の育成 目指す児童像 ・自ら学び考える子・思いやりのある子・健康でねばり強い子 ・当たり前のことを一生懸命にやる子（凡事徹底）
★しんけんにもちあじいかしてじぶんから 明るい心 未来へつながる 下地小	

宮古の食材を使った給食を!! 7月10日(水)は「みゃーく食材の日」

7月10日は、「みゃーく食材の日」という事で、お米と牛乳以外は全て、宮古島の食材を使った給食となりました。

メニューは、

- ・冬瓜のマグロ
- そぼろあんかけ丼
- ・アーサの味噌汁
- ・畑（ぱり）サラダ
- ・デザート（冷凍マンゴー）です。



7月10日は、6名の方々が来校し、みゃーく食材の日の給食に参加して下さいました。参加者は、子ども達の配膳するところを見て、各学級に入り子ども達と一緒に給食を召し上がっていただきました。



教室では動画も見ました。伊良部島の枝豆農家さん、マグロのミンチ肉を提供している伊良部漁港の方々、マンゴーを提供した上野の農家さんが出演している生産者を紹介した動画です。自分た

ちの食べている給食の食材が、多くの人の働きによって準備されている事がよく分かる動画となっています。(先日、保護者の方へ紹介したチラシの中のQRコードから視聴できます。ご家庭でもどうぞ、ご覧下さい)



来校して下さい方は6名。下地駐在所巡査長の仲間健太様(1年)、教育委員会総務課課長の平良文太郎様(3年1組)、宮古島市教育委員の前泊直子様(3年2組)、宮古郵便局の保久村昌治様(4年)、産業振興局局長の下里盛雄様(5年1組)市議会議員の上地廣敏様(6年)です。



当日は、マスコミさんも入り取材して、6年生はインタビューを受けていました。各クラスで交流を深めながら、宮古でとれた食材の給食に舌鼓を打った楽しい1日でした。給食の食材を提供して下さいだった皆さん、おいしい給食を作って下さった調理場の皆さん、産業振興局の皆さん、関係者の皆さん、ありがとうございました。

